

一人一人の違い、努力、よさを見つめて

校長 三瓶 昌信

昨日から学習発表会が始まりました。明日は保護者鑑賞日となっております。ご多用とは存じますが、ぜひ、ご参観ください。そして子供たちへ大きな拍手をお願いします。

発表会へ向けて子供たちは一生懸命取り組んできました。お家でも練習したのではないのでしょうか？

私は、人前で声を発する、歌う、踊る、演じるということには大きな価値があると考えています。自ら演劇やミュージカルに参加したり、演劇部やダンス部に所属したりしなければ、一生のうちで小学校の学習発表会や学芸会でしか経験できないことです。だからこそ、この緊張感、充実感、達成感子供たちに味わわせたいと考えています。

しかし、実際にはそう簡単なことではありません。発表会へ向けての限られた練習時間だけでは難しいところ。一人一人が声の大きさやトーン、緊張感も違います。必死に声を出してもなかなか聞き取れない子供もいれば、半分くらいの力でも体育館の後ろまで声が響く子供もいます。緊張が苦手な子供もいれば、全く動じない子供もいます。一人一人の違い、個性がはっきりと出ます。

それぞれ違いがある子供たちをどう評価し、認めていくかが学校教育の果たす大きな責任と考えます。安易に下手な平等意識で「違いが目立たないように」「差が出ないように」…という方向へ行きがちですが、私はそうではないと考えています。声小さくても必死で取り組む姿勢を大いに認め、声が大きくても手を抜いていることを戒める。またそういうことを感じ取ることができる子供たちを育てることが私たちの責任です。

そのためには、日々の生活指導、学習指導での一つ一つの積み重ねが大切です。いつでもどこでも誰にでも笑顔で元気に挨拶をする。授業中「はい」と元気に返事をして立って答える。「ありがとう」「ごめんなさい」という言葉が素直に出る。…特別なことではなく、ごく当たり前のことを当たり前にできることを大切に学校、教職員集団でありたいです。

個性豊かな子が集まり、学年集団を作り、学年全員でここまで創りあげてきました。明日は子供たちの努力を認め、たくさんほめてください。自分のお子さんだけでなく、同じ学年の仲間へもたくさん拍手を送ってください。「Bravo!」のかけ声も期待しております。

★お願い★ 転出予定・転入情報について

転出の予定が決まりましたら、迅速にご連絡ください。また、お知合いやご近所で転入の話がありましたら、ぜひご連絡ください。次年度の学級編成にかかわってきます。よろしく申し上げます。

★「ふれあい月間」(いじめや児童虐待の防止強化月間)を振り返り

11月は「ふれあい月間」でした。いじめや児童虐待の防止強化月間でした。

小山の子供たちは明るく、人懐っこく「THE こども!」という感じで大好きですが、「暴言・暴力」が課題です。些細なことでカッとなる場面が多く、「暴言・暴力」につながります。

学校では言語環境を整え、「暴言・暴力」を許さない風土の形成を目指しています。そのためには我々大人の姿勢が重要です。大人の姿を見て、子供たちはそのまねをします。責任は大人にあります。学校・家庭が連携し、生活環境、言語環境を整えていきましょう。

学校には、親しい関係づくりだと勘違いし、子供を呼び捨てにしたり、ニックネームで呼んだりする誤った風潮があります。TPOをわきまえた言語環境が必要です。教員の姿勢が子供に現れます。整えなければならない本校の課題です。家庭でも同様です。ぜひ、ご協力ください。「暴言・暴力」はいじめや不登校にもつながり、学校不信にもなり、時には保護者間の不信感にも広がります。気になることがありましたら、些細なことでもご連絡ください。ぜひ、いつでも学校にいらして子供たちの様子をご覧ください。